



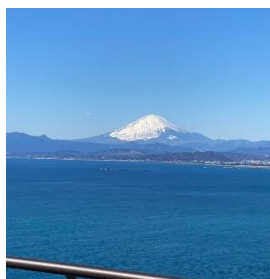
尾崎淳一の海岸物語

校長 尾崎 淳一

夏が終わりに近付き、秋の気配が漂い始める季節を「晩夏」と呼びます。ちょうど今頃の時期に当たるはずですが、今年はまだまだ秋の訪れを感じることはできませんね。それでも、明るいイメージの夏が終わり、静かな秋へと移ろいゆくことに、どこことなく悲しさを感じてしまいます。もちろん、「夏休み」の残り日数がひとケタに近付いているのも、私が悲しくなる原因の一つだと思います。

ところで、竜北生の皆さんは、「夏」と聞くと、何を連想しますか。「海水浴」「盆踊り」「花火」「かき氷」「朝顔」「向日葵」「すいか割り」「入道雲」「高校野球」などなど……。最近では、中学生が浴衣を着て夏祭りに行き、金魚すくいを楽しむとか、小学生が虫取り網と虫籠を持ち、麦わら帽子をかぶって昆虫採集にチャレンジするとか、「昭和の夏の風物詩」も遠い記憶になりつつありますね。私は、「古きよき昭和」が懐かしいお年頃です。

私は、青い海と白い砂浜が好きなので、高校時代から「湘南」に憧れていました。湘南とは、神奈川県相模湾沿岸地域を指す名称で、茅ヶ崎市や平塚市などが含まれます。サーフィンも盛んですが、意外にも私はサーファーではありません。また、有名な観光地の



江の島など、昔から多くのヒット曲にも取り上げられています。竜北生の皆さんから見れば、懐メロかも知れませんが、当時は流行の最先端を走っていた「サザンオールスターズ」「TUBE」「杉山清貴&オメガトライブ」などのスーパーグループが大ヒットを連発していたのです。美しい海を眺めながら、海岸線をドライブする夢は、大学時代に初めて叶えることができました。

ちなみに、「サザンオールスターズ」は『チャコの海岸物語』、「TUBE」が『あー夏休み』、「杉山清貴&オメガトライブ」なら『君のハートはマリンブルー』が、私のイチオシです。ちょっぴり哀しげな曲ばかりですが、私の性格上、暗めな歌が似合うのです。竜北生の皆さんも、「懐メロ」などと言わずに、ぜひ聴いてみてくださいね。涙が出ます。

17日(月)の出校日には、元気な竜北生が戻ってきてくれましたね。きっと提出物もバッチリだと思います。3年生はいきなり、『卒業生のお話を聞く会』が開催されました。この3月に卒業されたばかりの7名の先輩方から、進路決定にとっても役立つ「生きた情報」を聴くことができましたね。3年生は誰もが真剣に耳を傾け、横からその様子を見ていた私も「素晴らしい」と感嘆しました。そして、「果たして『校長の話』はどれぐらいの熱量で聴いているだろうか……」と、ふと不安になりました。当然ですが、私は校長の話を



横から聴いたことがないので、比べることなどできません。ただ、それほど3年生の皆さんの素晴らしい「聴く姿勢」が印象的だったということです。校長室に戻り、私は先輩方に言いました。「素晴らしい話でした！後輩も夢中になって聴いていました！私の話よりはるかに素敵でした！」と……。ああ、9月1日の集会で、確か「校長の話」があったなあ……。心のか弱い私は、既にプレッシャーに押し潰されているのです。

「たかが10日、されど10日」、最後まで価値ある夏休みに！『竜北生、G o!!』

17日(月)の出校日には、多くの竜北生が元気な顔で登校できました。充実した毎を送れたことが想像できます。これも保護者の皆様のお蔭と、心から感謝しております。

(令和8年8月20日)